

S Anterior Cervical Cage System **FUSE CAGE**

エス・フューズ・ケージ



S-Fuse Cage Surgical Technique

適 応

S-Fuseケージは頸椎での単椎間あるいは2椎間の頸椎変性疾患で神経症状を伴う患者に適応されます。S-FuseケージはC3-C7の頸椎前方が適応範囲です。



展 開

頸椎前方除圧固定術 (ACDF) で行われる通常の方法で必要とする展開を行います。

頸椎前方除圧

従来の方法による頸椎前方除圧 (ACD) を行い、前面の骨棘を除去します。

T字ハンドル

T字ハンドル [図1] はリーマー・タップ・ディストラクターガイドと
適合して共通で使うことができます。



[図1]

ディストラクション

適切なサイズのディストラクターガイド [図2] を隣接する椎体に確実に
接触するように挿入し適切なインプラントサイズを確認します [図3]

ディストラクターガイドのサイズを選択するためには隣接する変性してい
ない椎間高を参考にします。一般的な椎体スプレッターやレトラクターを
補助的に使用しても構いません。



[図2]

ディストラクターガイド→

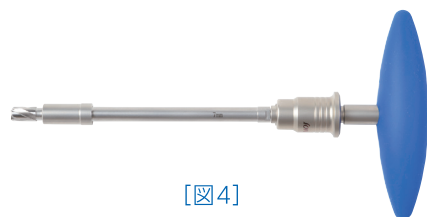


[図3]

リーミング

リーマー【図4】を右回転させていきます。抜くときも右回転させながら抜き上げます。

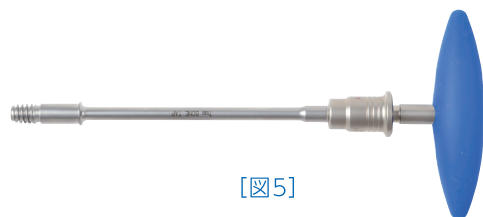
注意:リーミング時にはX線側面像の使用をお勧めします。



【図4】

タッピング

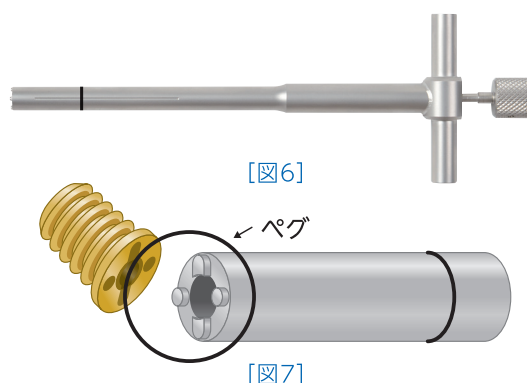
タップ【図5】を下方方向に少し力を加えながら右回しで行います。タップの取り外し方は、椎体から抵抗がなくなるまでゆっくり左へ回します。



【図5】

インプラントの取り付け

ケージ表面の2個の穴と直線の溝をインサーターのペグと合わせてインサーター【図6】の上部のつまみを右に回して、ケージを把持します【図7】



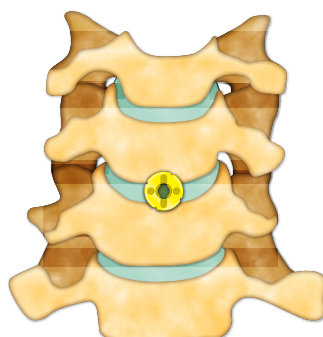
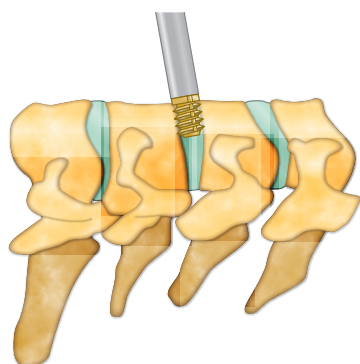
【図6】

【図7】

ケージの挿入

インサーターを軽く下方方向に少し力を加えながら椎間板腔に右回しで挿入していきます。ケージの挿入方向及び挿入深度を確認します【図8・図9】

注意:X線側面像及びA/P像にて、ケージの設置位置を確認する事をお勧めします。

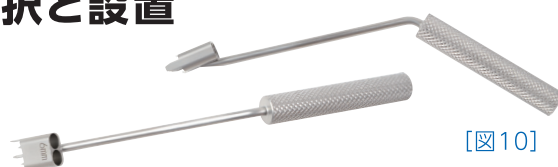


【図8】

【図9】

バイラテラルインサートガイド選択と設置

バイラテラルインサートガイド【図10】の使用方法是別紙のSurgical Techniqueをご参照ください。



【図10】

Instruments



ディストラクターガイド



バイラテラルインサートガイド



T字ハンドル



リーマー



インサーターガイドスターター



骨詰用台



タップ



インサーター



インプラントケース

製品番号	製品名	JANコード	内径(mm)	外形(mm)	長さ(mm)	色	機能区分名
SFC 0611	S-Fuse Cage	4573103574007	6	8.5	11	■	人工骨 ・ AB-14
SFC 0711		4573103574014	7	9.5		■	
SFC 0811		4573103574021	8 *	10.5		■	
SFC 1011		4573103574045	10 *	12.5		■	
SFC 1211		4573103574069	12 *	14.5		■	

*印のサイズはオプションとなります。

■総販売元



エー・アイ・ディーメディカル株式会社

〒060-0061 札幌市中央区南1条西16丁目1-323

お問い合わせ info@aid-med.co.jp

製造販売業者

日本メディカルオーダー株式会社

〒940-2023 新潟県長岡市蓮湯町294番地14 TEL:0258-89-8140

製造販売業者:日本メディカルオーダー株式会社

販売名:S-Fuseケージ器具セット 医療機器届出番号:15B1X10004000004

販売名:S-Fuseケージシステム 医療機器承認番号:30700BZX00007000